

# 高知市障害者計画・障害福祉計画 意見交換会報告(精神分野)

平成29年9月1日

高知市障害者計画等推進協議会

# 意見交換会の開催状況

	日時	対象
1	平成29年3月29日(水) 10:00～12:00	精神障害者の家族 (高知市精神障害者家族会 連合会)
2	平成29年4月26日(水) 10:00～12:00	精神障害当事者 (高知市ピアサポーター)
3	平成29年6月1日(木) 15:00～17:00	精神障害者の支援者(高知 市精神障害者地域移行支 援者会議)

# 意見交換会の主な内容

対象	主な内容
精神障害者の家族(家)	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活・福祉サービスについて</li><li>・医療・保健について</li><li>・就労について</li></ul>
精神障害当事者(当)	<ul style="list-style-type: none"><li>・就労定着について</li><li>・健康管理について</li><li>・居場所について</li></ul> <p>(アルコール依存症の方への支援について)</p>
精神障害者の支援者(支)	地域移行・地域定着について

# ①生活・福祉サービスについて

- ショートステイ(短期入所)を増やしてほしい。(家)
- ショートステイ等福祉サービスを知らない家族や病院関係者も多いことから、家族や支援者に対して福祉サービス全般の周知が必要。(家・支)

(今後の方向性)

関係者(当事者, 家族, 支援者)で, わかりやすい媒体や周知方法を検討する。

## ②医療・保健について(1)

- 保健所が時々訪問して声かけしてほしい。(家)
- 急性期対応の精神科救急病院が必要である。(家)
- 研修でACT(※)の必要性を実感した。ACTを高知でも行ってほしい。(家)

※ ACT(Assertive Community Treatment 包括的地域生活支援)：  
重い精神障害をもった人であっても、地域社会の中で自分らしい生活を実現・維持できるための包括的な訪問型支援。  
特徴としては、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、精神科医などからなる多職種チームアプローチであることと、利用者の生活の場へ赴くアウトリーチ(訪問)が支援活動の中心であり、365日24時間のサービスを実施することが挙げられる。(ACT全国ネットワークより)

## ②医療・保健について(2)

- ありのままの当事者の苦しみを受け止めて寄り添ってくれる温かい精神医療従事者が増えることを願っている。(家)
- 入院中の当事者の話も行政に聴いてほしい。(家)
- 当事者が主治医に話をできるようにすることが大事である。当事者，家族，病院だけでなく，第三者の存在や介入も必要である。(家)

(今後の方向性)

関係者で協議する場で課題を共有していく。

## ③就労定着について(1)

- 就労し定着するためには、話を聴いたり、仲介したり、困難と一緒に向かったり、トータルにサポートしてくれる存在が必要である。(当)
- 就労継続支援A型の利用から一旦離れても、また戻れるしくみが必要である。(当)

(今後の方向性)

切れ目のない支援ができるよう各関係機関が連携を図り、就労支援サービスから離れても孤立しないしくみをつくる。

## ③就労定着について(2)

- 就職率は高いが離職率も高い。(家)
- 職場の障害者の理解のために支援者が関わることが重要である。(当)
- 就労の入り口は手厚いが、年数が経ち支援が減ってくると病状悪化して継続できなくなることがある。伴走者のように支える存在が必要で、転機の時介入できる体制が必要である。(支)

(今後の方向性)

30年度からの就労定着支援事業を円滑に実施する。

## ④健康管理について

- 自分で健康管理に気をつけている人もいるが、健診の情報が届いていない人も多く、生活習慣が適切でない人も多いかもしれない。(当)
- 病院から退院するときに生活の仕方を教えてほしい。(当)

(今後の方向性)

生活習慣や健康管理の必要性について関係機関の支援者に啓発や情報提供を行う。

## ⑤居場所について

- 人によって居場所は多様。(当)
- 話を聴いてくれる場所やただ居るだけでも良い場所があると良い。(当)
- 地域活動支援センター等長く居れる場所が一番ほしい。(家)
- 多様性に対応できる居場所が必要。(支)
- 地域活動支援センターには専門性があってほしい。(当)

(今後の方向性)

居場所について精神障害者に関わる関係者で協議する。

## ⑥地域移行・地域定着について (連携・しくみづくり)

- 病院, 行政, 家族, 当事者で情報を共有ししくみづくりをしていく必要がある。(家)
- 医療と福祉の垣根がある。病院と地域の視点は違う。病院スタッフが地域で生活するための視点を持つことが必要である。入院時のカンファレンス等, 入院当初から病院と地域が連携することが必要である。(支)

(今後の方向性)

1. 高知市精神障害者地域移行支援者会議(実務者)を継続する。
2. 関係機関の代表者で協議する場を新たに設置する。

## ⑥地域移行・地域定着について (退院意欲喚起)

○退院したいという意欲をどう引き出すか。(支)

○ピアサポーターとして病院でのミーティングで人助けをできることが生きがいである。(当)

(今後の方向性)

ピアサポーターと協働した地域移行・地域定着の実践を積み重ねる。

## ⑥地域移行・地域定着について (住居・体験宿泊)

- グループホームに入りたいが空いていない。グループホームに合う人，合わない人もいる。(支)
- 保証人がおらず受け入れてもらえないところも多い。(支)
- 賃貸アパートで理解のあるところが増えたらよい。(支)
- 入院中に地域での生活を体験できる施設がほしい。(支)
- 退院できる場所がないと退院を勧めにくい。(支)

(今後の方向性)

体験的な宿泊支援等，制度の情報を共有し，活用を促進していく。